

除草剤グルホシネート耐性ワタ LLCotton25 系統
及びチョウ目害虫抵抗性ワタ 15985 系統の概要

項 目	概 要	
品 種	除草剤グルホシネート耐性ワタ LLCotton25 系統	チョウ目害虫抵抗性ワタ 15985 系統
申請者	バイエル クロップサイエンス株式会社	
開発者	Bayer CropScience AG (ドイツ国)	
製品の概要	ワタに <i>bar</i> (<i>bialaphos resistance</i>) 遺伝子を導入することにより PAT タンパク質が発現し、除草剤グルホシネートに耐性を持つ。	Cry1Ac タンパク質を発現するチョウ目害虫抵抗性ワタ 531 系統由来の商業品種に <i>cry2Ab</i> 遺伝子を導入することにより Cry1Ac 及び Cry2Ab タンパク質が発現し、チョウ目害虫(オオタバコガ等)に抵抗性を持つ。
宿 主	<i>Gossipium hirsutum</i> 種のワタ	<i>Gossipium hirsutum</i> 種のワタ
挿入遺伝子 (供与体)	<i>bar</i> 遺伝子 (<i>Streptomyces hygroscopicus</i> ATCC21705 株由来)	Bt (<i>cry1Ac</i> 及び <i>cry2Ab</i>) 遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> subsp. <i>kurstaki</i> 由来)
選択マーカー (供与体)	—	● <i>nptII</i> 遺伝子 (<i>E. coli</i> トランスポゾン Tn5 由来) ● <i>uidA</i> 遺伝子 (<i>E. coli</i> プラスミド pUC19 由来)
新たに確認された性質	除草剤グルホシネート耐性	チョウ目害虫(オオタバコガ等)抵抗性
可食部分に発現する遺伝子産物と発現量	種子(有毛種子からリント皮を除いたもの)の生重量 1g あたり PAT タンパク質 108~136 μg (平均 127 μg)	種子中の生組織重量 1g あたり Cry1Ac タンパク質: 3.35 μg NPTII タンパク質: 10.8 μg Cry2Ab タンパク質: 43.2 μg GUS タンパク質: 58.8 μg
安全性審査を経た旨の公表 (官報告示日)	平成 16 年 6 月 28 日	平成 14 年 10 月 1 日